

たりとつけ  
3連続。絶

のようなブ  
上位との差  
はフェア  
0%とい

で優勝争い  
の連続。絶

日本チーム  
丸山茂樹さ  
獲得が決ま  
山に知らせ  
感涙をぬぐ  
当にすごい  
よかったです

(時事)

## 物理部門 安積文化官賞

ポスター  
パネル部門

## 会津学鳳

文化官賞

8/6 民報

## 自然科学で県勢躍進

団碁、郷土芸能

部門は入賞逃す

5日は前日に続いて団碁

部門を実施し、本県勢は個

ぱい」と喜んだ。

会津学鳳高SSH探求部

化学班は「アラニナト銅水

溶液中に生じた赤色薄膜の

物質同定と生成過程の解

明」をテーマに研究した。

七海篤史さん、大河原大翔

さん、穴沢優獅さん(いず

れも3年)、高橋幸嗣さん

(2年)が出席した。七海

さんは「顧問の先生やチー

ムメートに恩返しできて良

かった」と話した。

「全力で取り組む姿  
大きな感動与えた」

県高校文化連盟(高文連)  
の三條敦理事長(安積黎明

高)は今大会の県勢につい

て「全力で取り組む高校生

の姿を見る側に大きな感動

を与えた」と評した。

県勢約160人は、全22

部門のうち計16部門に参

加。自然科学部門2部門の

文化庁長官賞に加え、書道、

新聞部門の入賞など成果を

示した。会場には、大きな

自然災害に見舞われた地域

から参加する生徒の姿もあ

った。「2011(平成23)

年に本県で開催されたふく

しま総文祭を思い出した」と振り返った。

全国総文は7月31日か

ら8月5日まで岐阜県で

実施し、全国の約2万人が

多彩な文化活動を披露し

人団体とも入賞に届かなか  
った。  
郷土芸能部門の発表も行  
われ、会津農林高の早乙女  
踊り保存クラブは入賞を逃  
した。



文化庁長官賞の賞状を手にする  
五十嵐さん(左)、宗像さん



文化庁長官賞を受けた(左から)高橋さん、大河原さん、七海さん、穴沢さん

た。



岐阜県で開催中の第48回  
全国高校総合文化祭(全国  
総文)は最終日の5日、大

垣市の岐阜協立大で自然科  
学部門を実施した。物理部  
門で郡山市安積高、 بواس  
て、旅する  
けるわけも  
四大メジャ  
価値がある  
メダリスト

回るプロゴ  
も数ある試  
国を代表し  
が出現した。五十嵐さんは  
像真冴さん(いずれも3年)  
が出演した。五十嵐さんは  
「これまでの活動が実を結  
んでうれしい気持ちでいっ

ぱい」と喜んだ。  
会津学鳳高SSH探求部  
全国2位相当の文化庁長官  
賞に選ばれた。

安積高物理部スマホ班は  
「スマートフォンはなぜ画  
面を下にして落ちるのか」  
と題して発表した。班を代  
表し、五十嵐瑛汰さん、宗  
像真冴さん(いずれも3年)  
が出演した。五十嵐さんは  
「これまでの活動が実を結  
んでうれしい気持ちでいっ

ぱい」と喜んだ。  
会津学鳳高SSH探求部  
全国2位相当の文化庁長官  
賞に選ばれた。

「スマートフォンはなぜ画  
面を下にして落ちるのか」  
と題して発表した。班を代  
表し、五十嵐瑛汰さん、宗  
像真冴さん(いずれも3年)  
が出演した。五十嵐さんは  
「これまでの活動が実を結  
んでうれしい気持ちでいっ

8/6民友

(肺炎)



岐阜県で開かれていた第48回全国高校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」は最終日の5日、自然科学部門の結果が発表され、県勢は安積、会津学鳳の2校が各部門で2位相当の優秀賞・文化庁長官賞を受賞した。研究発表・物理部門では安積物理部、ポスター発表では会津学鳳SSH探求部化学班が賞状を手にした。

研究発表・物理部門では、安積物理部の五十嵐瑛汰さん(3年)、宗像真冴さん(3年)の2人が、日常の疑問から研究を進めてきた「なぜスマホは画面を下にして落ちるのか」をテーマに発表した。

講演し、つんざくさん2018年  
信育成にも情熱を注ぎ、現代の仕事と言われる「あい

過程の解説」と題して発表

ポスター発表では、会津学鳳SSH探求部化学班の大河原大翔さん(3年)、七海篤史さん(3年)、沢優獅さん(3年)、高橋幸嗣さん(2年)が、「アラニン・エコノミー」が分析した。国立研究開発法人の情報通信研究機構(NICT)が開発したシス

## 救助要請投稿 1割デマ

能登地震発生後

閲覧数稼ぎか

には、より多くの関心を集めても閲覧数を稼げば収入増につなげられる「アンション・エコノミー」があるとされる。

海外が発信元とみられる投稿もあり、真偽を判定した研究員は「能登地震の時だけ日本語の投稿をしていて、それ以前はアラビア語や英語が飛び交っているア

ニト銅水溶液中に生じる赤色薄膜の物質同定と生成

デマの投稿が相次ぐ背景

句発表する安積の五十嵐さん(左)、宗像さん(右)受賞を喜ぶ会津学鳳の(左から)高橋さん、大河原さん、七海さん、沢さん

岐阜県で開かれていた第48回全国高校総合文化祭「清流の国ぎふ総文2024」は最終日の5日、自然

科学部門の結果が発表され、県勢は安積、会津学鳳の2校が各部門で2位相当の優秀賞・文化庁長官賞を受賞した。研究発表・物理

H探求部化学班が賞状を手にした。

研究発表・物理部門では、安積物理部の五十嵐瑛汰さん(3年)、宗像真冴さん(3年)の2人が、日常の疑問から研究を進めてきた「なぜスマホは画面を下にして落ちるのか」をテーマに発表した。

講演し、つんざくさん2018年  
信育成にも情熱を注ぎ、現代の仕事と言われる「あい

過程の解説」と題して発表

ポスター発表では、会津

学鳳SSH探求部化学班の大河原大翔さん(3年)、七海篤史さん(3年)、沢優獅さん(3年)、高橋幸嗣さん(2年)が、「アラニン・エコノミー」が分析した。国立研究開発法人の情報通信研究機構(NICT)が開発したシス

デマの投稿が相次ぐ背景

# 安積、会津学鳳 長官賞 総文・自然科学の2部門

スマートフォンを手に持つ際のさまざまな高さや角度で落下させる実験を繰り返し、物が軸の周りを回転する時の速さを表す量「角速度」の大きさが影響していることを結論付けた。五

十嵐さんは「物理部で培った経験や多くの実験を取り組んだ結果、言葉にならないぐらいうれしい」と喜びを語った。

ボスター発表では、会津学鳳SSH探求部化学班の大河原大翔さん(3年)、七海篤史さん(3年)、沢優獅さん(3年)、高橋幸嗣さん(2年)が、「アラニン・エコノミー」が分析した。国立研究開発法人の情報通信研究機構(NICT)が開発したシス

デマの投稿が相次ぐ背景

ポスター発表では、会津

学鳳SSH探求部化学班の大河原大翔さん(3年)、七海篤史さん(3年)、沢優獅さん(3年)、高橋幸嗣さん(2年)が、「アラニン・エコノミー」が分析した。国立研究開発法人の情報通信研究機構(NICT)が開発したシス

デマの投稿が相次ぐ背景

第6527回ナンバーズ  
(5日)  
【ナンバーズ】 31 280

△抽せん数字  
・ストレート  
73,600円  
12,200円

・ボックス  
・セットレート  
42,900円  
6,100円

ボックス(下2ケタ)  
7,300円

【ナンバーズ】 4 1951

△抽せん数字  
・ストレート  
473,800円  
39,400円

・ボックス  
・セットレート  
256,600円  
19,700円

第1919回ロト6  
(5日)

△本数字  
05 17 19  
21 38 41

△ボーナス数字  
06

1等  
(本数字6個と一致)  
70,987,400円  
(3口)

2等(本数字5個と一致)  
さらにボーナス数字1個と一致)  
9,127,200円

県内のPM2.5予測

6日 7日 8日 9日 10日 11日

PM2.5

△非常に多い(注意喚起レベル)

気象庁の

カウントもあ

っている。

C ◇磐梯越道  
間上下線・故

め午後9時15分

高速道通行

△上行線・故

め午後9時15分

比丘尼山の町道(4日

1頭) △福島市荒井の木(5日午前11時20分ごろ、

多方市熱塩加納町加納字水

道121号沿いの田畠(5日午

1頭) △会津若松市

字石山の国道49号(5日午